

# 支援システム操作手順書

支援システム操作手順書では、特に支援システムとのやりとりに必要な情報を解説します。

登録担当者となった方は、[登録担当用](#)を参照してください。

利用管理者（各証明書を管理する方：サーバ管理者、クライアント証明書管理者、開発者などが該当します）向けの証明書発行・更新・失効の手順は、[利用管理者用](#)を参照してください。

2018年7月9日20:30以降、主体者DNの仕様が変更になっております。これ以前に発行した証明書が有効期限を迎える場合、更新申請ではなく新規発行申請を行ってください。

とくにサーバ証明書について、利用管理者手順書から抜粋したリンクを以下に列挙します。

[2-1. サーバ証明書新規発行手続き概要](#)

[2-2. サーバ証明書更新申請手続き概要](#)

[2-3. サーバ証明書失効申請手続き概要](#)

主体者DNのルール・CSR生成の具体的な方法は、下記リンクからご利用のサーバソフトウェア用マニュアルを参照してください。

[サーバ証明書インストールマニュアル](#)

STとして指定できる値は下記リンクを参照してください。

[ST固有値一覧](#)



## 2018年7月9日 主体者DNの仕様変更について

2018年7月9日以降、各証明書の主体者DNの仕様を下記の通り変更します。

- L=Academe 固定が廃止となります。市区町村名を入れてください。
  - 値として、Academeは使えなくなります。
  - そのため、7月9日のメンテナンス以降、更新前と同じ主体者DNは使えません。新規発行申請を行ってください。
- ST=を指定できるようになります。都道府県名を入れてください。STは、いくつかの表記パターンを許容します（例：Tokyo や Toukyou など）。
- LとSTのいずれか片方が必須になります。両方を指定することもできます。
- LとSTには、本サービスの利用申請書に記入した所在地を用いてください。



## 登録担当者 と 利用管理者

登録担当者とは、各機関において、証明書発行のための審査と、電子証明書自動発行支援システムの操作をする方をいいます。

利用管理者とは、UPKIの認証局より発行される証明書を所有し、証明書に記載された公開鍵と対になる秘密鍵を管理する人、組織をいいます。利用管理者は、登録担当者を介して証明書の発行申請を行います。



## TSV作成ツールについて

各申請に必要な TSVファイル を作成できるWebアプリケーションを提供しております。下記リンクからご利用ください。

<https://certs.nii.ac.jp/tsv-tool/>

## 当手順書の一覧

- [はじめに -支援システム操作手順書について-](#)
- [登録担当者用](#)
  - [はじめに -登録担当者用 支援システム操作手順書について-](#)
  - [サーバ証明書管理手順](#)
  - [クライアント証明書管理手順](#)
  - [コード署名用証明書管理手順](#)
  - [その他 -利用管理者情報、TSVファイル形式-](#)
- [利用管理者用](#)
- [ルートCA証明書のインストール手順](#)
- [ST固有値一覧](#)